

平成27年度第3回佐久市総合計画審議会第2部会 議事録

日 時:平成27年9月24日(木)

10:00~12:00

場 所:佐久市役所 6階

602会議室

【出席者】相馬部会長、石山副部会長、桃井委員、秋山委員、土屋厚子委員、
土屋せつ子委員、佐藤千恵子委員、黒澤委員、武重委員、中島委員

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐(企画調整係長)、市村企画員、中沢企画員、大井

1 開会

2 部会長挨拶

3 議 事

(1) 第2回部会での質問に対する回答について

- ・事務局より前回質問事項について、回答を説明。

(資料4)

ア 資料4に関する質問・意見

なし

(2) 「市民アンケート結果の推移」の検討について

(3) 「目標」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

- ・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第3章に掲げられた「アンケート結果」、「目標」について施策毎に説明。その後、部会において審議。

(資料2-2)

ア 第3章 質問・意見

(委員)	資料2-2P18施策名:林業 緑は財産であり、佐久の発展につながっていくものであるので頑張 ってほしいと思います。
(委員)	松くい虫については何か対策をしているのでしょうか。総合運動公 園や内山の上の方の立派な松も真っ赤になってきていると思いま すが。

(事務局)	耕地林務課の方で枯れた松の燻蒸等を行っておりますが、広がりに対して間に合っていないのが現状です。
(部会長)	佐久市は自然が一番の財産だと思います。一度、壊してしまったらなかなか戻せないと思います。
(委員)	鹿の対策などはどうなっていますか。
(事務局)	有害鳥獣の対策では、猟友会の皆さんと協力して猟期の拡大や、駆除を行っていますが、なかなか農産物の被害は減っていないのが現状です。森林整備と鹿の生息についての関連性は分析できていないため、森林整備が不十分だと鹿が里へ下りてくるといった関連性は不明ですが、有害鳥獣等が隠れる場所をなくすために下草狩りなどはやっているとのことでした。
(部会長)	それでは、ただ今出た意見等を部会の報告にまとめとして付記していただきたいと思います。
	資料 2-2P 19 施策名：商業・サービス業
(委員)	臼田町の商工会でプルーンを使ったドレッシングを開発しており、市でも給食で使ってもらったりしているのですが、素人が作るのでも味だとかを身近に相談出来る人がいません。農協の営農指導員さんとかに相談出来たりできれば良いのですが、身近にそういう方がいないのでブランド化や販売していくのに行き詰まる場所があります。また、なかなか少量だと作ってくれる工場もなく悩んでいるところです。相談できる窓口があればと思うのですが。
(事務局)	現在、進められている地方創生においても、地域の資源を生かした取組というのはとても大切なことです。担当課に伝えさせていただきます。
(委員)	佐久平駅で佐久市のものを売っているところを見ても、佐久市で作られているものがあまりないと思います。これでは、6次産業化、佐久ブランドを育てることは出来ないと思います。

(委員)	食品会社と手を組んでやらないと、経費との問題もあり、個人ではとてもできないと思います。
(委員)	農協でもそういったドレッシングの開発のようなことをやっているところもありますが、生産者の思いと、消費者の思い、価格面や、安全衛生面とかに差があったり、広く消費者の方に購入いただける商品にすることは難しいと感じています。設備などへの投資や、技術者の育成などもあり、試行錯誤をしています。しかし、そういった取組ができてきているは事実で、努力をしている皆さんが連携をとって情報交換をしていく中で良いアイデアが出たりすることにも期待したいと思っています。
(委員)	そういった広域的なつながりは出来つつあるのですか。
(委員)	農協では女性会等のグループがあり、それぞれで作ったものを直売所を通して販売するといった取組はあります。
(委員)	商工会の女性部でブルーのドレッシングを商品化していく中で、商工会は商工会、農協は農協と別れており、一緒にタイアップして意見交換をしていけば、もっと販路も増えるし一緒に話し合う場ができれば、地元の商品開発のブランド化も促進されるのではと感じた。市等どこかでそういった取りまとめをしてほしい。
(事務局)	担当課に伝えさせていただきます。
(部会長)	それでは、担当課に状況等はお伝えいただき、今後も取り組んでいただきたいと思います。

	資料 2-2P 2 0 施策名：観光
(委員)	佐久南インターの所に道の駅を整備するようですが、今、動物を連れて移動している人が非常に多く、ドックラン等を作ればそれを目当てに人が集まると思います。また、キャンピングカーのための電源の確保を行うことにより、そこを目指して人が来るようになるのではないのでしょうか。道の駅だとありふれているため、少し違った所を出せば、より人が集まると思います。人を集めることをすごく考えてほしいと思います。
(事務局)	担当課にご意見を伝えさせていただきます。
(委員)	私も犬を飼っていますが、佐久市内で犬と泊まれるところを検索してもほとんどありません。軽井沢にはありますが、佐久には泊まりたくても泊まれない状況です。ペットと食事ができる場所も少ない状況です。東京では、ペットと入居できるマンションでないと入り手がいないという状況もある中、時代に対応できる施設づくりをしないといけないのではと思います。
(委員)	佐久市の観光行政として、どこを目標としているのでしょうか。アンケートにしても、何が満足で、何に不満なのかというところを調査して、佐久市で消費していただくというところを目標にした方が良くと思います。
(事務局)	通過点になっているだけではダメなので、ニーズを踏まえてやっていければと思います。
(部会長)	今、出た意見を踏まえ、今後でも取り組んでいっていただくということをお願いします。
	資料 2-2P 2 1 施策名：工業
(委員)	この地域にこういった企業を誘致するといった考えはあるのでしょうか。

(事務局)	誘致に当たっては、地域医療の先進地域として医療と連携できるような企業を、ということはありませんが、まずは、働く場所の確保ということで幅広く誘致を行っています。
(委員)	ポイント、視点を持って佐久市が来てほしい企業を考えて誘致する方が効率的だと思います。
(部会長)	佐久の商工会議所でもインキュベーションセンターとかラボのようなものを作って、研究開発型の産業が呼べれば良いと考えており、そういった施設を作ってほしいと要望しています。
(委員)	この地域は、地震も少なく安全・安心な地域だと思います。これは売りになると思います。
(部会長)	出た意見をまとめていただき、部会報告に付記するという事よろしいでしょうか。
	資料 2-2 P 2 2 施策名：就労・雇用
(委員)	佐久市のインターンシップの体制は、とてもよくやっていると感じます。学生の参加意欲にも問題があると思いますが、佐久市は他市に比べてもよく取り組んでいると思います。インターンシップは、堅いイメージがあるので、もう少しアルバイトの延長といったやわらかいイメージの方が参加しやすいのではと思います。
(事務局)	今年度からは、より参加しやすいように学生の交通費や宿泊費の補助も行っています。
(委員)	それは、非常にありがたいと思います。最近の学生は、かなり生活が苦しい者もおりますので、電車賃がなくて就活に行けないという話も聞いたことがあります。
(委員)	受け入れている企業はどんな企業で、何日ぐらいですか。
(事務局)	事業所としては例年 10 社程度で、平成 27 年度では 11 社となっています。製造業が 3 社、建設業が 1 社、測量設計会社が 1 社、印

	<p>刷デザイン会社が1社、酒造会社が1社、金融業が1社、情報会社が1社、呉服販売業が1社となっており、最大で5日間の受け入れとなっています。</p>
(委員)	<p>インターンシップ受け入れ事業所というのは、登録している事業所でしょうか。</p>
(事務局)	<p>市にインターンシップ受け入れ事業所として登録している事業所となっています。</p>
(委員)	<p>市のこういった事業を知らない人も多いのではないかと思います。インターンシップ自体は、もっと受け入れている事業所があるのではないのでしょうか。</p>
(委員)	<p>大きな会社だと就活サイト等で募集が出来ますが、小さな会社では費用も掛かりなかなか募集できないというのはあると思います。</p>
(委員)	<p>こういう制度があるというPRを、事業所にも、学生にもしっかりしていかないといけないと思います。</p>
(部会長)	<p>なかなかPRというのは難しいと思います。市の広報にしても、商工会のものにしても見てもらうということが一番難しいと感じています。</p>
(部会長)	<p>それでは、ただ今出た意見等を部会の報告にまとめとして付記していただきたいと思います。</p>

(4) 「チャレンジ！！」の進行状況の評価及び今後の方針の検討について

- ・事務局より、第一次佐久市総合計画後期基本計画の第3章に掲げられた「チャレンジ！！」の項目について説明。その後、部会において審議。

(資料 3-2)

ア 第3章 質問・意見

	3 1 1 林業
(委員)	第3章を見ていると、目標と結果の分析が非常にやりにくい章だなと感じるのですが、林業や工業において集計中となっているものがあり、本当の分析ができていない所があるかと思います。特にその所の数字が落ちているように感じられますが、そこをしっかりと分析しないと次の10年をどうしていくのか、チャレンジが本当に的確なのかぼやけてしまうかと思います。集計中のままで終わらせないで、明確にできないでしょうか。
(事務局)	過去の結果から、今後の方針の記載は行っているところですが、結果の分析については、集計結果が出たところで分析を行っていきたいと思います。
(部会長)	それでは、ただ今出た意見等を踏まえ取り組んでいただきたいと思います。

(5) その他

- ・いただいた意見のまとめ方及び部会報告書の作成について連絡
- ・次回会議の日程について連絡

4 閉 会